

第184回  
沖縄地方交通審議会  
船員部会 議事録

令和6年4月18日（木）

沖縄総合事務局

# 第184回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 令和6年4月18日（木）11時00分  
場 所 沖縄総合事務局5階「聴聞室兼会議室」

## 出席者：

公益委員 赤嶺委員、豊川委員、大城委員  
労働者委員 柴田委員、島仲委員  
使用者委員 桃原委員、亀谷委員、角委員

沖縄総合事務局 野原船舶船員課長、  
宜名真海事振興・防災危機管理調整官、  
宜保課長補佐、  
金城係員

## 議事次第

### ○開 会

### ○議 事

1. 第183回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況について
3. 意見交換

### ○閉 会

#### （配付資料）

資料1. 第183回船員部会の議事録（案）

資料2. 船員職業紹介実績等一覧表（令和6年3月分）

資料3. 令和5年度卒業者進路状況一覧表（沖縄水産高等学校・宮古総合実業高等学校）

参考資料1. 令和6年度沖縄地方交通審議会船員部会構成員名簿（事務局含む）

参考資料2. 令和6年度船員部会開催予定表

### **赤嶺部会長代理**

それでは、定刻でございますので、第184回船員部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局からお願ひ致します。

### **事務局（金城）**

本日は、公益委員3名、労働者委員2名、使用者委員3名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たし、本部会が有効に成立していることをご報告させていただきます。

なお、4月の人事異動で事務局の職員に変更がありましたので、簡単に自己紹介をさせて頂きます。

はじめに宜名真海事振興・防災危機管理調整官から自己紹介をお願いします。

### **事務局（宜名真調整官）**

初めまして。4月1日付で海事振興・防災危機管理調整官に着任しました宜名真と申します。

船員政策関係に携わるのは初めてで不慣れなところもありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

### **事務局（金城）**

次に船舶船員課、宜保課長補佐より自己紹介をお願いします。

### **事務局（宜保補佐）**

皆さんこんにちは。4月1日の人事異動で比屋根の後任として着任しました宜保と申します。

私は船舶船員課での業務経験はあるのですけども、船員部会という会議では初めての担当となります。

この1年皆様の御意見等をお聞きして、船員さんの待遇改善とかにつながればと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

### **事務局（金城）**

続きまして、今回の船員部会の配付資料を確認させていただきます。

（配付資料の確認）

### **赤嶺部会長代理**

それでは、まず初めに、前回、第183回船員部会の議事録について承認を諮りたいと思います。事前にメールにて確認されていると思いますが、議事録について何かご意見はありますか。

原案のとおり、承認してよろしいでしょうか。

（「はい」）の声

## 赤嶺部会長代理

異議がありませんので、承認されたものといたします。

続いて、議事の2「管内の雇用状況」について、事務局から説明をお願い致します。質問は最後に受け付けたいと思います。

## 事務局（宜保補佐）

令和6年3月分の管内雇用状況等の概要についてご報告致します。

### ●求人状況について

新規求人数は12件でした。

新規求人における内訳としては、

旅客船に係る県内事業者2社から航海士2名、機関士2名、甲板員1名、

曳船に係る県内事業者1社から航海士を1名、

警備艇に係る県内事業者1社から航海士を1名、

砂利運搬船に係る県内事業者1社から航海士1名、機関士2名、クレーン士1名、

漁業調査船に係る県内事業者1社から甲板員を1名となっております。

前月に比べ10件増加、また、前年同月と比べても9件増加となっております。

月間有効求人数は47件でした。

前月に比べ10件増加、また、前年同月に比べ7件増加となっております。

月間有効求人数の内訳は、商船等44件、漁船3件となっております。

月末未済求人数は44件でした。

### ●求職状況について

新規求職数は3名でした。

前月に比べ5名減少、また、前年同月と比べても5名減少となっております。

新規求職数の内訳は、商船等3名となっております。

### ●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

3月の新規求職者3名の退職理由は、自己都合が2名、陸上勤務中の現職が1名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管内が3名となっております。

### ●求職状況について

月間有効求職数は15名でした。

前月に比べ4名減少、また、前年同月に比べ1名減少となっております。

月間有効求職数の内訳は、商船等13名、漁船2名となっております。

月末未済求職数は15名でした。

### ●成立状況について

3月の成立は0件でした。

### ●求人倍率について

3月の月間有効求人倍率は、3.13倍でした。

前月に比べ1.18ポイント増加、前年同月に比べ0.63ポイント増加となっております。

### ●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は1名、支給延べ件数は2件です。

基本手当支給額は218,820円、

再就職手当の支給で商船等1件、476,973円、

総支給額は695,793円でした。

以上、令和6年3月分の管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

### 赤嶺部会長代理

ありがとうございます。今回新規求人数について前月比500%増と大きく増えましたね。

### 事務局（金城）

前回の新規求人が2件と少なかったことに加え、今回新規求人が10件増加したためその分増加率も大きくなっています。

### 赤嶺部会長代理

承知しました。その他何かご質問等はありますか。

特にないようですので、議事3の「意見交換」に移りたいと思います。何かございますか。他にないようであれば、事務局より資料の説明をお願いします。

### 事務局（金城）

資料3について説明させていただきます。こちらは、沖縄水産高校

と宮古総合実業高校における令和5年度の卒業者進路状況となります。学校の協力をいただきまして、令和5年度に卒業された生徒の海上に関係する就職及び進学の状況を表にして記載しております。

1ページ目は沖縄水産高校についての資料です。沖縄水産高校は大きく専攻科と本科に分かれており、専攻科を卒業した生徒36人のうち23名が海上関係の事業者へ就職しております。内訳として県内事業者へは9名、県外事業者へは14名就職しております。本科については、卒業した生徒202人のうち11名が海上関係の事業者へ就職しております。内訳として県内事業者へ1名、県外事業者へ10名就職しております。この海上関係の事業者への就職先については2ページ目の資料に記載しております。

続いて、3ページ目は宮古総合実業高等学校についての資料となります。海洋関係の学科である海洋科学科を卒業した生徒9名のうち5名が県外の海上関係の事業者へ就職しております。こちらも海上関係の事業者への就職先については4ページ目の資料に記載されております。

資料の説明については、以上です。

### **赤嶺部会長代理**

はい、ありがとうございます。何か質問等はございますか。

### **柴田委員**

この資料には記載がないのですけども、1ページ目に沖縄水産高校の専攻科・本科の卒業者について就職した人数の記載はあるのですが、学校に対しての求人倍率はどのようになっているか確認できますか。その数値がもし資料としてあれば、さきほど事務局から報告があった一般の求人倍率との比較でしたり、新卒に対する求人がどれほど学校に集まっているかというのも知ることができるので分かれば教えていただきたいです。

また、2ページ目の就職先一覧表について、例えばですが、専攻科の就職者23名に対して就職先の事業者数は10数社と約半分ほどとなっております。これは実際何社から学校あてに求人があり最終的にこの数社の事業者へ就職が決定したか分かれば教えていただけますか。

### **赤嶺部会長代理**

基本的に高校の就職先というのは、学校に求人情報が提供されて、それに基づいて学生が就職活動をするという理解でよろしいですか。

### **柴田委員**

水産高校の本科生や普通高校生の場合は、確かに4月から9月の間に、企業側が求人申し込みを行うなどし、9月に就職解禁になると思うのですが、水産高校の専攻科生の場合はちょっと特殊で大学生と同じ採用活動の取扱になるようです。4月下旬から5月のゴールデンウィークにかけて1次面接をするという県内の企業さんが最近多いと耳にします。本科生と専攻科生では求人の取扱が異なるためちょっと集計が取りにくい部分もあるかもしれないんですけど、本科生に対して今何社の求人があるのか、専攻科生に対して何社の求人があるのかというのが分かれば、事務局から毎月資料提供いただいている一般的な求人件数と照らし合わせれば、労働者が不足している状況がより把握できるのかなと思います。

私が聞いた話では本科生の求人倍率が5倍を超えるほどで、専攻科生の求人倍率が20倍ぐらいと聞いております。もう少しその辺を深掘りして資料としてもらえれば助かります。

### **事務局（野原課長）**

こちらの資料は学校からご提供いただいたものであり即答は難しいため、後日学校へ確認し、来月の船員部会にてご報告させていただけたらと思います。

### **柴田委員**

分かりました。一般的な大学生は何年生から就職活動というのは始まるのでしょうか

### **豊川委員**

解禁は4月1日からとはなっているのですけども、それがどんどん早くなっている状況です。特に沖縄県内の一般的な企業は、だいたい4月から6月頃にかけて就職活動のピークとなるので、3年生の前期ぐらいから準備を始めて、後期には就職フェアとかに参加して企業研究をするといったことがされております

### **角委員**

（5日以上の実施など）一定の条件を満たしたインターンシップに参加した学生に対して、受け入れ企業は声をかけていいという情報もあります。

### **柴田委員**

そうなのですね。ちなみにこの解禁日というのは学校が規定しているのでしょうか。

**豊川委員**

国が中心となり経済団体等と協議のうえ決めているようですね。

**柴田委員**

解禁日を決めているということであれば、沖縄県内のみではなく日本全国でこの日に決められているということですかね。

**豊川委員**

そうなりますね。

**柴田委員**

解禁日が決められているところ、競争が激化している状況もあり、県内企業も含め、各社求人活動を早くおこなわないといけないという感じがあるようです。

**赤嶺部会長代理**

ありがとうございます。ほかに御質問等や御意見はありますか。

**桃原委員**

本科生の卒業者が200名ほどおりまして、海上への就職や進学した生徒が40名近くいるようですが、残りの約160名の卒業者についてはどのような進路をたどったのでしょうか。

**事務局（金城）**

手元に資料がありませんので、こちらのご質問についても学校へ確認して、情報が得られましたら次回の船員部会にて回答させていただいてもよろしいでしょうか。

**桃原委員**

承知しました。

**柴田委員**

ちなみに本科のなかに「海洋サイエンス科」という科があるのですがこちらは以前からあった学科でしょうか。

**事務局（金城）**

資料に記載があるのですが、この海洋サイエンス科は令和3年度より新設されたということで報告は頂いております。

### **柴田委員**

なるほど。以前は海洋技術科の中でコーストマリンコースという科があったのですが、それが海洋技術科から独立するかたちで海洋サイエンス科となったのかもしれませんね。

### **赤嶺部会長代理**

ほかに質問等ございますか。ほかにないようであれば、事務局から連絡がありますので、お願ひいたします。

### **事務局（金城）**

5月の船員部会は、5月16日（木）に当局2階共用会議室Cで11:00より開催します。後日、改めて案内の文書をメールで送付いたします。出席できない場合は、事前に事務局まで御連絡ください。

また、今回の議事録案は後日、メールで照会させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

### **赤嶺委員**

以上をもちまして終了させていただきます。お疲れ様でした。